

地域学校協働活動事業訪問

桑折町訪問

訪問日：令和2年12月1日（火）10:00～11:20

場所：桑折町立醸芳幼稚園

内容：年少組 「読み聞かせ」

桑折町では、年度の始めに体験活動・ボランティア活動支援センターがサポーター要請計画を学校から預かり、ニーズに応じたボランティアを紹介しています。当日は、地元で30年以上活動している読み聞かせボランティア「ら・みるく」から3名の方々に来ていただき、読み聞かせが行われました。

「ら・みるく」の皆さんは、園児の年齢や実態に合わせて、パネルシアターや大型絵本など4つのお話を読んで聞かせました。読み聞かせの途中でクイズを出したり、指遊びをさせたりしながら、飽きずに楽しくお話を聞くことができる工夫をこらしていました。表現豊かな読み聞かせにより、園児たちは登場人物の気持ちになりきり、物語の世界に引き込まれていきました。



【園児から】

- クイズがあって、楽しかったです。
- 体操がとっても楽しかったです。

【ボランティアの方から】

- 工作やピアノ演奏などメンバーの得意分野を生かして子どもたちが楽しめる読み聞かせ会を行っています。
- 支援センターの依頼を受けて、園や学校のニーズに合わせて読み聞かせの準備をします。子どもたちの反応がとても楽しく、元気をもらっています。

【園長先生から】

- 園のニーズを伝え、教育課程に関わる内容で読み聞かせをお願いしています。
- クイズあり、音楽あり、体操あり。園児達は、「ら・みるく」さんの読み聞かせをいつも楽しみにしています。



訪問を通して

桑折町では、7ヶ月検診の際にブックスタートを行い絵本を贈呈するなど読書活動の推進に力を入れています。醸芳幼稚園でも、園内の図書の実践や読み聞かせ、家読（うちどく）などを実施して、子どもたちが本に触れる機会を大切にしています。

本日の読み聞かせのようにボランティアの方に来ていただく時には、コーディネーターが園のニーズをボランティアに伝えて学習に参加してもらいます。そうすることで、園とボランティアが学習活動の目標を共有することができます。共有した目標に向かって、園とボランティアが双方向で関わることが「社会に開かれた教育課程」の実現につながっていると感じました。